

# 1人1台端末を活用した 「新時代の学び」が始まります

Society5.0（超スマート社会）の時代が現実味を帯びる中、この新しい時代を生き抜く子どもたちの資質・能力を育む上で、ICTの活用は不可欠です。室蘭市は小中学校に1人が1台の「Chromebook（クロームブック）」端末を使うことのできる環境を整えました。学習活動の一層の充実と、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に向け、日常の授業の中で積極的に活用していきましょう。

## Chromebook 端末について

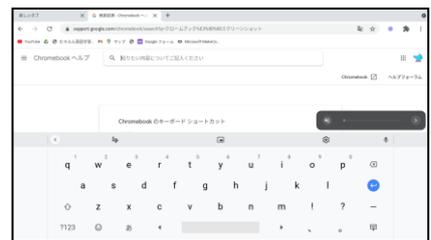
インターネット検索サイトを運営する Google 社が開発した OS（基本ソフト）で動作するノートパソコンで、「Google Workspace for Education（グーグル・ワークスペース・フォー・エデュケーション）」というクラウドサービスの使用が前提となります。



室蘭市で導入した  
Chromebook 端末

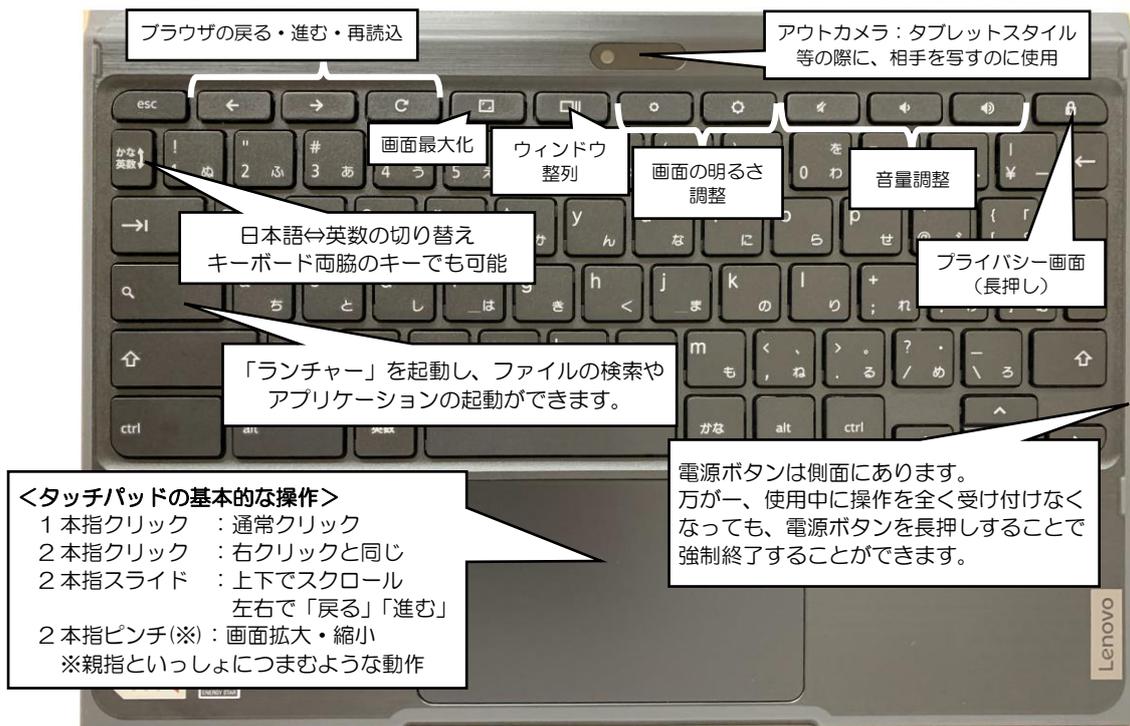


タブレットスタイルやテントスタイルでの使用もできます



タブレットスタイルなどの時は、  
タッチ操作での入力ができます。

## ●キーボードが少し Windows パソコンとちがいます



## Google Workspace for Education について

利用の際に必要な Google アカウントは、市教委から配布します。児童用はパスワードも一緒に配布します。教師用は、初回ログイン時に各自でパスワードを設定してください。

### 室蘭市の Google アカウントの例

【「北海 道子」さんのアカウント】

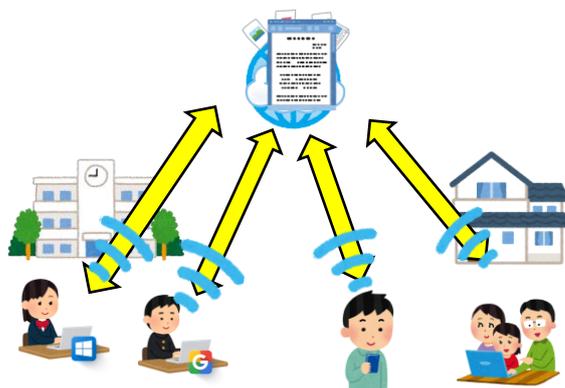
**hokkai.michiko1302x@muroran.ed.jp**

氏名 小学校入学年度 整理番号

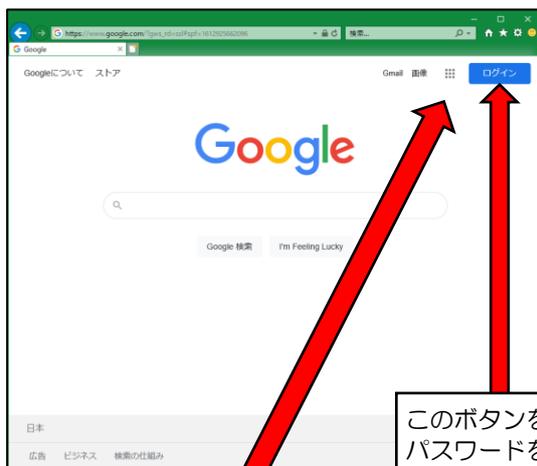
※教員用アカウントに整理番号等はつきません  
(同姓同名の方に識別文字がつく場合があります)。

※パスワード入力が難しい児童向けに、QR コードによるログインも可能です(室蘭市端末の場合)。

データは、クラウドとよばれるインターネット上の領域に保存されるので、別な場所の PC やスマートフォンなどからも、同じアカウントでアクセスできます。また、他の人との協働作業も可能です。



### ●Chromebook 端末以外から利用するには



このボタンをクリックし、アカウント (〇〇〇@muroran.ed.jp)、パスワードを入力してログインします。

PC の場合は、インターネットブラウザから、Google のホームページにアクセスして、ログインします。ブラウザは、Internet Explorer 以外のものを使用してください。Google 社の Chrome がおすすめです。

スマートフォンやタブレットの場合は、お使いの環境に応じてアプリケーションのインストールが必要となります。

### ●アプリケーションの起動



ドキュメント  
(文書作成)



スプレッドシート  
(表計算)



スライド  
(プレゼンテーション)



Google ドライブ  
(ファイル管理)



G メール  
(電子メール)※



Meet  
(オンライン会議)

上記は代表的なアプリケーションです。他にもさまざまなアプリケーションを使用できます。  
※児童生徒用端末は muroran.ed.jp ドメインの相手とだけ送受信できる設定となっています。

各アプリケーションの詳細は  
室蘭市教育研究所の研修動画  
クリップをご参照ください。



### 重要!

**muroran.ed.jp のアカウントでログインして校務等を行う際は、自身所有 PC を使用する、個人情報(児童生徒の成績や健康状況、教職員の人事情報など)を G ドライブへ保管や送受信しない、など室蘭市の Google Workspace for Education 利用ガイドラインにしたがってください。**

# 1人1台端末を活用した指導事例

学校におけるICTを活用した学習場面は、A「一斉学習」、B「個別学習」、C「協働学習」の3つに分類されます。

(文部科学省「学びのイノベーション」実践研究報告書より)

A 一斉学習		B 個別学習		C 協働学習	
挿絵や写真等を拡大・縮小、画面への書き込み等を活用して分かりやすく説明することにより、子供たちの興味・関心を高めることが可能となる。		デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った進度で学習することが容易となる。また、一人一人の学習履歴を把握することにより、個々の理解や関心の程度に応じた学びを構築することが可能となる。		タブレットPCや電子黒板等を活用し、教室内の授業や他地域・海外の学校との交流学習において子供同士による意見交換、発表などお互いを高めあう学びを通じて、思考力、判断力、表現力などを育成することが可能となる。	
A1 教員による教材の提示	B1 個に応じる学習	B2 調査活動	C1 発表や話し合い	C2 協働での意見整理	
					
画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用	一人一人の習熟の程度等に応じた学習	インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録	グループや学級全体での発表・話し合い	複数の意見・考えを議論して整理	
B3 思考を深める学習	B4 表現・制作	B5 家庭学習	C3 協働制作	C4 学校の壁を越えた学習	
					
シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習	マルチメディアを用いた資料、作品の制作	情報端末の持ち帰りによる家庭学習	グループでの分担、協働による作品の制作	遠隔地や海外の学校等との交流授業	

## 個別学習

### B1：個に応じる学習

小学校第5学年 外国語活動  
「Alphabet,vegetables, gestures」  
●デジタル教科書・教材を使って、ネイティブの発音を映像で観察するなどしながら練習することで、意欲的に取組、英語に慣れ親しむ。

### B2：調査活動

小学校第1学年 生活科  
「いきものとあそぼう」  
●各児童に多様な「気づき」を促し、観察力を養うため、動植物の観察時にタブレットPCのカメラ機能で撮影。後の授業で細かな観察が可能。  
●撮影した写真は電子黒板に提示し、クラス全体に発表。

### B3：思考を深める学習

中学校第3学年 数学科  
「三平方の定理の利用」  
●1年生での既習事項である空間図形コンテンツを学習者用デジタル教科書・教材から引き出して復習  
●学習課題を電子黒板で共有して考え方を確認することで、より理解を深める。

## 協働学習

### C1：発表や話し合い

小学校第3学年 算数科  
「計算のきまり」  
●ペアで問題を解く際に、タブレット PC で学習シートを共有し、同時に書き込み話し合いを行う。  
●作成したシートを電子黒板にて全体に共有し、意見交流。理解を深め定着させる。

### C2：協働での意見整理

中学校第3学年 社会科  
「第二次世界大戦と日本」  
●各自の進捗や内容の重複、過不足を把握し、調査内容の整理を円滑に進めるため、個々の調査内容を協働学習アプリケーションに入力し共有しながら歴史上の出来事について分担。

「学びのイノベーション」実践報告書には、写真や指導案も掲載されてます



※ 指導学年、教科・領域、単元名は授業実践当時のものです。詳しくは実践報告書をご覧ください。

## 1人1台端末活用についてのQ & A

### Q 同じ Google アカウントをいつまで使えますか？

A 教師用アカウントは、市内小中学校であれば転勤後も同じように使えます。ただし市外へ転勤する場合はアカウントが抹消されますので、再度室蘭市への転勤があってもデータは引き継がれず、新しいアカウントとなります。

児童生徒用アカウントも同様で、市内の小学校から中学校への進学や転校の際は、同じアカウントを使うことができます。中学校卒業時や市外へ転校した場合、アカウントは抹消されます。

### Q パスワードの管理について教えてください。

A 教師用アカウントのパスワードは、初回ログイン時に各自で設定します。パスワードがわからなくなってしまった際は、市教委へご連絡ください（※）。児童生徒アカウントのパスワードは、学校へ一覧でお送りしていますので、各校のICT担当者へお問い合わせください。万一各校にて不明となった際は、市教委へご連絡ください（※）。

児童生徒へのアカウントやパスワードについての指導は、発達段階や状況に合わせて行ってください。低学年等キーボード入力が難しい場合は、QRコードをChromebook内蔵カメラで読み取ってログインできます。QRコードのカードやパスワードが、他の児童生徒に使われたり、校外に流出したりすることのないよう、適切な管理・指導をお願いいたします。

### Q Chromebook から印刷するには？

A Chromebook から直接印刷することはできません。印刷したいデータをGoogleドライブの共有フォルダに保存するなどして、教師用WindowsPCからアクセスし、印刷してください。

### Q Chromebook を大型モニターやプロジェクターにつなぐには？

A USB-C端子をHDMI端子等に変換する市販のアダプターが必要です。アダプターを本体のUSB-C端子に接続し、HDMIケーブルなどで大型モニターやプロジェクターに接続してください。



### Q 児童生徒が Chromebook を持ち帰ってもいいの？

A Chromebookの持ち帰りについては、全ての家庭でのインターネットへの接続の保障等環境整備と、各学校の指導体制整備が必要です。現在急ピッチで各方面との調整を行っておりますので、当面は校内での活用をお願いします。

### Q Chromebook が壊れたときは？

A 基本的には、学校にある予備機との交換にて対応していただきます。まずは、壊れた際の状況をできるだけ詳しく把握した上で、情報教育センターへご連絡（※）ください。

※ お問い合わせは学校ICT担当者を通じてお願いします。  
教師用アカウント：総務課 22-5101  
児童生徒アカウント：学校教育課 22-5055  
機器のトラブル：情報教育センター 090-6692-1557

教育研究所では、今後も最新の情報をお伝えします。ぜひご活用ください！

